# 令 和 4 年 中 の 交 通 事 故 概 況

死者数が交通事故統計の記録上最少となる ~

## 1 交通事故の概要

令和4年中の北海道の交通事故による死者数は115人(前年比-5人)で、北海道の交通事故統計が 残っている昭和22年以降最少となった令和3年(120人)を更に下回り、過去最少を更新した。

発生件数は8,457件(前年比+153件)と増加したが、人身事故件数の記録が残っている昭和41年 以降、令和2年、令和3年に次いで3番目に少ない発生件数となった。

負傷者数は9,785人(前年比+187人)で、平成28年以降5年ぶりに増加した令和3年に続き、2年連続で増加した。

#### 【月別の死者数推移】

(人)

年	別\月	別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令	和 4	年	7	8	2	10	11	5	13	11	16	13	13	6	115
令	和 3	年	8	8	8	8	7	13	14	12	5	12	15	10	120
前	年	比	- 1	± 0	- 6	+2	+4	-8	- 1	-1	+11	+1	-2	- 4	- 5

# 2 交通事故死者の概要(115人中)

## 事故類型別

車両単独によるものが42人(36.5%)で最も多く、次いで人対車両、車両相互がそれぞれ32人(27.8%)となっている。

#### 第1当事者の年齢層別

高齢運転者(65歳以上)によるものが39人(33.9%)(うち75歳以上が15人)で最も多く、次いで40歳代が21人(18.3%)、50歳代が18人(15.7%)となっている。

## 第1当事者の違反別

前方不注意が32人(27.8%)で最も多く、次いで操作不適が16人(13.9%)となっている。 歩行者妨害による死者は8人(7.0%、前年比 - 8人)と大幅に減少した。

#### 死者状態別

自動車乗車中(特殊車両含む。以下同じ。)が48人(41.7%)で最も多く、次いで歩行中が33人(28.7%、車両相互の交通事故に巻き込まれた第三者1人を含む。)となっている。 二輪乗車中(原付含む。以下同じ。)の死者が21人(18.3%、前年比+11人)、自転車乗車中の死者が12

― 二輪乗車中(原付含む。以下同じ。)の死者が21人(18.3%、前年比+11人)、自転車乗車中の死者が12 人(10.4%、前年比+10人)と大幅に増加した。

#### 死者年齢層別

高齢者の死者が63人(54.8%)(うち75歳以上が40人)で最も多く、このうち歩行中が27人(42.9%)、自動車乗車中が25人(39.7%、運転席18人、助手席1人、後部席6人)、自転車乗車中が7人(11.1%)、二輪乗車中が3人(4.8%)、その他の軽車両が1人(1.6%)となっている。 高齢者が歩行中の死者は、前年比マイナス10人と、大きく減少した。

## 飲酒運転を伴う事故状況

飲酒運転を伴う人身交通事故は72件(前年比 - 20件)発生し、4人(前年比 - 1人)が死亡した。 死者4人の事故類型をみると、正面衝突による死者が2人(50.0%)、車両単独、追突がそれぞれ1人(各 25.0%)で、正面衝突、車両単独の死者は第1当事者、追突による死者は第2当事者となっている。

## シートベルト着用状況別

自動車乗車中死者48人中、シートベルト非着用者は17人(35.4%)で、このうち15人(88.2%)はシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

## 別 紙 1

#### 1 年別死亡事故発生件数・死者数

	73370	ᆫᄀ	<u> </u>		/U II XX										
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	> / 在	데	日24年	日25年	日26年	ロッフ任	山28年	日20年	H30年	D元任	D 2 任	D3年	D / 任	過去	平 均
区分\年別		נינו	11244	11254	11204	11274	11204	11254	11304	ハルサ	N 2 +	+	1144	2 4年 - R3年	29年 - R3年
発生	t 件	数	184	178	157	168	149	144	130	148	136	119	113	151.3	135.4
死	者	数	200	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	159.3	141.0

#### 2 月別死者数

	, , , , , , ,														
	年別\月	別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
4	令和 4	年	7	8	2	10	11	5	13	11	16	13	13	6	115
3	令和 3	年	8	8	8	8	7	13	14	12	5	12	15	10	120
Ė	前 年	比	- 1	± 0	- 6	+2	+4	- 8	- 1	- 1	+11	+1	-2	- 4	-5

## 3 発生時間帯別死者数

	\ 時間	帯別	0 - 2	2 - 4	4 - 6	6 - 8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24
歹	者	数	6	1	6	9	14	16	13	20	15	8	4	3
	構成率	(%)	5.2	0.9	5.2	7.8	12.2	13.9	11.3	17.4	13.0	7.0	3.5	2.6
育	<b>年</b>	比	+1	- 3	+6	- 1	- 1	+1	- 8	+11	± 0	- 4	- 8	+1

#### 4 道路別死者数

	\道	路別	国 道	道 道	市町村道	高速道	そ	の他
死	者	数	42	34	31	2		6
	構成率(%)		36.5	29.6	27.0	1.7		5.2
前	年	比	- 2	+14	-16	+2		- 3

## 5 事故類型別死者数

	\ 事故類型別	人重	対	自転車	車	両	相	互	車両	踏切
			両	対車両	正面衝突	追 突	出会い頭	その他	単 独	迫切
死	者 数		32	8	18	2	10	2	42	1
	構成率(%)	2	7.8	7.0	15.7	1.7	8.7	1.7	36.5	0.9
前	i 年 比		- 8	+6	- 5	+1	-7	+ 0	+9	- 1

#### 6 第1当事者年齢層別死者数

	\ 白	F L M M T	25歳未満	25-29歳	3.0歳代	40歳代	50歳代	60-64歳		高	計 者		步行者等
	١, ٦	一图4/目 773	とりがスパーツ	2 J - 2 J ///x	3 O Just 1 C	T O Jake 1 C	3 O Jase 1 C	00-04/9X		65-69歳	70-74歳	75歳以上	아마마
歹	E 1	者 数	7	2	6	21	18	12	39	11	13	15	9
	構瓦	成率(%)	6.1	1.7	5.2	18.3	15.7	10.4	33.9	9.6	11.3	13.0	7.8
育	j £	羊 比	- 1	- 1	- 3	- 4	± 0	± 0	-2	- 1	+4	-5	+5

高齢者の内訳の構成率は、総数に対する構成率

# 7 第1当事者違反別死者数

_		<u> ۱۰ ۱</u>	7 -	建汉川										
Γ		/ 造!	민	酒酔い	最高速度	追越し等	<b>-</b>	信号無視	一時不停止	過労運転	安全	≧運転義務;	韋反	その他
	\ 違反別 死 者 数	油計	取同处皮	追巡し寺	少门自劝告		W. P.L.	旭万建和	操作不適	前方不注意	その他	C 07 (E)		
3	无_	者	数	0	12	3	8	4	3	2	16	32	15	20
ı		構成率(	(%)	0.0	10.4	2.6	7.0	3.5	2.6	1.7	13.9	27.8	13.0	17.4
Ē	ń	年	比	- 1	+1	± 0	-8	-3	-3	- 1	- 2	- 1	+7	6

飲酒を伴う 事故(酒酔い 含む)
4
3.5
- 1

飲酒を伴う事故は、酒酔い、酒気帯び、基準以下、検知不能の合計であり、上記違反の内数(酒酔い除く)

# 

	, ,,,,,,,,								
	\ 状怠	態別	自動車乗車	二輪乗車	自転車	乗用中高 齢 者	步(	市 中高齢者	その他 (道路外等)
死	者	数	48	21	12	(7)	33	(27)	1
	構成率(	%)	41.7	18.3	10.4	(58.3)	28.7	(81.8)	0.9
前	年	比	- 17	+11	+10	+6	- 9	-10	± 0

例~最高速度と酒気帯び 操作不適と基準以下

「自動車乗車」には特殊車両を含み、「二輪乗車」には原付を含む

## 9 年齢層別死者数

_			****	<u> </u>									
I		\ 午龄!	國미	25 崇丰港	25-29歳	30歳代	40歳代	5.0 崇代	60-64歳		高	き 者	
l			2.3 所以/下川	2 J - Z 3 MX	3 O MX I C	40 MX I C	JUMER	00-04/98		65-69歳	70-74歳	75歳以上	
I	死	者	数	7	1	4	18	11	11	63	11	12	40
		構成率	(%)	6.1	0.9	3.5	15.7	9.6	9.6	54.8	9.6	10.4	34.8
I	前	年	比	+3	± 0	- 1	+9	-3	+2	-15	-3	- 4	-8

高齢者の内訳の構成率は、総数に対する構成率

# 10 自動車乗車中死者のシートベルト着用状況(65人中)

_			717 1	- / -		,	1,1		,,,,			
Γ		\ 美田	状況	対象者	着 用		非	ŧ	盲	用		着 用
		( 11 円)			19 円		(生存可)	運転中	(生存可)	同乗中	(生存可)	不 明
Ž	死	者	数	48	31	17	(15)	13	(11)	4	(4)	0
		構成率	(%)	100.0	64.6	35.4	(88.2)	76.5	(84.6)	23.5	(100.0)	0.0
Ī	前	年	比	-17	- 4	-13	(+2)	-12	(+1)	- 1	(+1)	± 0

生存可能の構成率は、非着用者の各状態別(運転中、同乗中)に対する構成率

<sup>「</sup>高齢者」の構成率は、各状態別(自転車乗用中、歩行中)に対する構成率

		以光土小儿以往	
年別	発生件数	死者数	傷者数
昭和22年	357	150	418
23年	495	176	340
24年	624	157	565
25年	1,020	221	793
26年	1,280	247	1,057
27年	1,561	239	1,236
28年	2,458	279	1,753
29年	3,079	324	2,218
30年	3,513	341	2,714
31年	4,666	405	3,672
32年	5,215	419	3,958
33年	6,147	468	5,211
34年	6,798	573	5,788
35年	8,213	633	7,002
36年	11,732	638	9,044
37年	10,725	494	7,848
38年	11,203	618	9,373
39年	12,226	615	10,580
40年	14,171	631	12,817
41年	12,239	654	15,229
42年	15,900	656	20,640
43年	23,440	755	31,987
44年	29,693	832	42,026
45年	30,042	882	43,641
46年	27,104	889	38,879
47年	24,401	796	35,680
48年	22,667	728	33,165
49年	17,253	483	25,005
50年	15,971	487	23,038
51年	16,551	482	23,895
52年	16,467	475	23,626
53年	16,334	494	23,338
54年	16,747	549	23,515
55年	16,737	510	23,376
56年	17,330	501	24,097
57年	17,833	588	24,647
58年	18,326	618	25,022
59年	17,241	581	23,272
60年	18,995	560	25,223
61年	20,423	470	26,732
62年	21,141	471	27,540
63年	22,978	548	29,317
平成元年	25,330	659	32,457
2年	25,903	715	32,135
3年	26,034	573	32,002
4年	25,230	585	31,292
5年	25,399	595	31,341
6年	26,553	619	32,479
7年	27,606	632	33,294
8年	27,168	595	32,370
9年	25,759	613	33,361
10年	28,153	533	36,231
11年	29,566	536	37,733
12年	30,806	548	39,523
13年	30,531	516	39,281
14年	28,674	493	36,786
15年	28,811	391	36,602
16年	27,844	387	35,200
17年	28,384	302	35,389
18年	26,967	277	33,696
19年	23,582	286	29,204
20年	21,091	228	25,801
21年	19,503	218	23,855
22年	18,088	215	22,096
23年	16,395	190	19,705
24年	14,973	200	18,048
25年	13,722	184	16,247
26年	12,274	169	14,571
27年	11,123	177	13,117
28年	11,329	158	13,489
29年	10,815	148	12,673
30年	9,931	141	11,494
令和元年	9,595	152	11,046
2年	7,898	144	9,043
3年	8,304	120	9,598
4年	8,457	115	9,785
	-, -		-,

注 1 昭和34年までは、軽微な被害事故(8日未満の負傷、2万円以下の物件被害)は含まない。 2 昭和40年以前の件数は、物件事故を含む。